

● 家庭菜園に

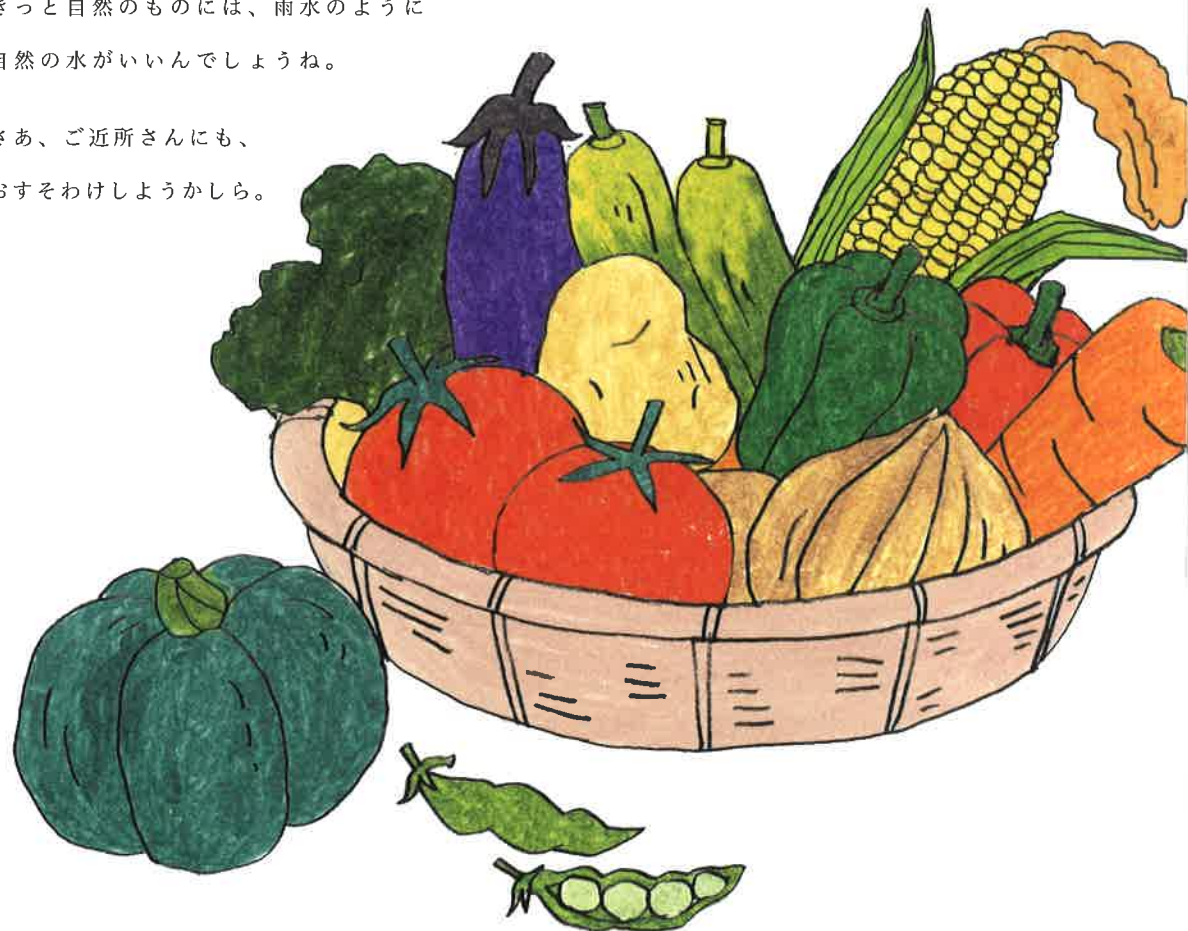
水やりはジョウロで、ていねいに。

お花やお野菜の様子を見ながら、
ときには話しかけながら水やりができる。
それが、ジョウロの好きなところ。
「つぼみが出てきた」とか、「葉っぱが色づいてきた」とか
四季の移り変わりにも気付きやすくなるんです。

ホースよりも手間と時間はかかるけど、愛情はたくさん注げると思う。

そうやって作り育てたお野菜たちは、
カタチはバラバラだけど、なんだかみずみずしい。
きっと自然のものには、雨水のように
自然の水がいいんでしょうね。

さあ、ご近所さんにも、
おすそわけしようかしら。



● 打ち水に

雨水で、打ち水。

気温が上がる前に、打ち水。
夏の日課になりました。

水道水よりも、雨水。
自然の恵みだから、自然な涼しさが広がるようです。

家の前を通る人たちにも涼を感じてもらえたら、
とてもうれしいことですね。



● 家庭菜園に

野菜も孫も、すくすく育つ。

「この野菜、おばあちゃんが作ったんだよ」。

わたしのその一言がきっかけで、
野菜が苦手だった孫が、
野菜に興味を持つようになりました。

「おばあちゃん、
つぎはトマトが食べたいな」
「おばあちゃん、このやさしい、
雨でつくったんだよね」

いまではいっしょに庭仕事を
やってくれています。

